

野呂氏 其人は米券を發行する事は債計の方へ傳ふる、其れは野呂君の説
に隨ふとて三庄の方にも其の株を通知して置かう。

蘇田氏 其麼事は問題でない、大なる問題を解決せねば……

笹子氏 昨日の詰が成立すれば宜しい訳だ。

野呂氏 今日も鮮明者があつた為め向後益々悪化する株と思ふ、此終には工場
が開門せぬといけぬ。其れがと云ふ、働かぬ人々も難し何の条件か出
来ず許可されるなら良いが、爭議團では吾々社長は會社に欺かれた来
又候欺す株を考へを以て居るから困る、昨日も所の方より聞く、此の状態
が尚續く時は自然貸借が出来なくなる為め、先を閉す事を有り小さい
商賣人は非常な難政する、然し不及ながら現に社長等が仲裁を立
居るの故から其れを依頼しやると云ふ有様なり、今も社長及野呂氏
倚頼したる大株主立場となつて居るから可愛想と思つて下さる
ら、今少し何んか戴か後い。

笹子氏 然し金政も職工の悪いと言ふ事を認めざるや、世言ふ如く、悪を知りな
ら改むる勇氣がないか、殊に最高幹部等がそんな事を云つて居るのなり。

竹内氏 一回二回と高三回四回と草草する為めは首切も断行する考へた其れを
加えて彼等の要求が不当であるから当然、さういふければはらぬと考へる。

野呂氏 會社側ではさうでせうが是れが問題提起せぬから一步進人が考へると云ふ
事は譯歩しを戴く、其れは如何か光明を現はして下さい、光明を認めないや
る事は六テ敷い、永引けは會社に不名誉なり、益々職工も困る、隨つて悪化も
すると思ひますから一日も早く開門する事が肝要でありませう。

西牧氏 以度の問題として最高幹部が非とするならば、今迄も再三再四反省を
促した事なからう。

野呂氏 全部が聞か居る為め困る、聞いた人達はあれ等幹部のみで、其處
に疎通を生ぜぬ大事です、申訳はありませぬ、考へるに當りては自分達は覺
悟して居るのみ、其辺は推量下さい。